

6.RとLの発音が聞き取れないわけ

RとLの違い、あなたは聞き取れますか？

日本人は、RとLの区別がどうしてもうまくできません。発音も苦手ですが、英米人が話すのを聞いていて、うまく聞き分けられないのです。現に、ソニーの社員で海外赴任の経験して非常に英語に達者な者たちを集めて、RとLの区別の実験をやってみても、完璧にその聞き分けができる人はわずかしきいません。

これは日本人の聴く力、発音する力が英米人に比べて劣っている、というわけではありません。実際、赤ちゃんの喃語(なんご)はあらゆる音を含んでいて、世界共通のものだといわれます。ところが、日本人が始めて英語を習う中学生の時期よりずっと以前に、RとLを聞き分けられるか、そうでないかのわかれ道があるために、少なくとも中学生では、RとLを区別する能力の臨界期を過ぎてしまっているということなのです。これは教育や学習の問題というより、純然たる生理的な問題と考えなくてはならないでしょう。発音の問題にしても、日本語がきれいに定着してからだと、他国語の発音は非常に日本語的になってしまう、ということはいしばしば感じられることです。

逆にいえば、そういう時期を過ぎてからの学習は、駄目なわけではないのですが、大変な努力が必要になるということです。極端に言えば、小さい子どもの時期に、日本語だけしか経験させず、中学生になってはじめて英語を教えるということは、少なくとも人間が潜在的にもっている能力のひとつ、あらゆる音声を発生するという1つの能力をたいへんムダにしているといえるわけなのです。

[ソニー井深名誉会長／0才教育の第一人者]

R? L?